

すくわくプログラム推進事業実践報告書 2024年10月

所在地	東京都新宿区戸山1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・芋ほりを通して泥の感触を楽しむ
- ・芋ほりの体験を通して、生長や食べ物の収穫に興味を持つ

<テーマの設定理由>

- ・自然に触れ、土や芋に親しむことで食や季節への興味を育てるため。
- ・芋ほりで収穫した芋をその場で焼き芋を行い、味わう。

2. 活動スケジュール

- ・年中児1クラス22名、年長児1クラス20名が参加。
- ・活動時間 60分
- ・芋ほりと狭山の園庭遊び

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・狭山のいるまこども園へのバスの手配（中型バス2台）
- ・芋ほり用の軍手、回収ボックス
- ・焼き芋用のバーベキューコンロ（狭山）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・芋ほり体験
- ・狭山の園庭あそび
- ・焼き芋の試食

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

(子どもたちの様子)

- ・土を掘る楽しさを感じ、夢中で掘る姿や芋の発見に喜ぶ姿、友だちと協力したり、掘った芋の大きさを比べたりしていた。
- ・掘った芋を焼き芋にして実際に食べることで旬の味覚を味わっていた。

(保育者の関わり)

- ・人数確認、狭山の職員と声を掛け合って連携を取り、芋ほり、園庭遊びともに安全に遊べるように見守る。
- ・芋博士より、芋の掘り方の説明があったため、掘り方がわからなくて困っている子がいたら、できるようにサポートする。
- ・途中で疲れてしまう子には適宜休息を促す。

活動のが分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・狭山の畑で実際に芋ほりを行うことで、自然体験の大切さや子どもたちの意欲の高さが感じられた。子ども同士で協力したり、掘った芋の大きさを比べる姿があったので、重さを図ったり、長さを図ったりして子どもの興味や関心を広げていく。
- ・掘ったさつまいもを使って、後日園でクッキングを行って行く。
- ・当日気温が高かったため、補充用のお茶を多めに用意してもらって良かった。
- ・焼き芋の試食を行うため、今回はおやつを持参をなくして良かった。